

# わ せ だ ゆ き 早稲田夕季のひまわり通信

2009年11月 No.23

## あなたの声で政治は変わります



9月定例会で平成20年度決算が審議されました。決算審査特別委員会では一般会計決算については多数で不認定となりましたが、本会議で賛成14人、反対13人の裁決結果により認定されました(他特別会計についても認定)。大船観音前マンション問題の紛糾と市の訴訟参加は市民の目線に立った行政運営から大きく逸脱したものと考え、早稲田夕季は一般会計決算に反対の立場で討論しました。

決算審査特別委員として発言したこと、20年度一般会計決算を「生活者の視点」でまとめたものをお知らせします。

平成20年度決算状況		前年度の対比
<b>歳入(収入)総額</b>	<b>1,016億7,429万円</b>	<b>92%</b>
一般会計	578億5,699万円	103%
特別会計	438億1,729万円	81%
<b>歳出(支出)総額</b>	<b>993億9,396万円</b>	<b>92%</b>
一般会計	562億2,163万円	103%
特別会計	431億7,233万円	81%

財源の主な内訳(前年度の額)		全体に占める割合
<b>市税</b>	<b>約371億円(約364億円)</b>	<b>66%</b>
市民税	約198億円(約193億円)	
固定資産税	約131億円(約129億円)	
都市計画税	約33億円(約33億円)	
<b>国庫支出金</b>	<b>約37億円(約36億円)</b>	<b>6.7%</b>
<b>市債</b>	<b>約28億円(約26億円)</b>	<b>4.9%</b>

### 市の決算を家計にたとえると? (普通会計ベース)

収入	
給料(市税)	371万円
親からの贈与(国県からの補助金等)	91万円
パート収入(施設の使用料、手数料)	14万円
銀行からの借入(市債)	28万円
その他(繰入金・繰越金)	58万円
<b>合計</b>	<b>562万円</b>

- 実質収支額(翌年度繰越分を除く) 15万円の黒字
- 貯金残高(財政調整基金等) 70万円

### 支出

食費(人件費)	159万円
光熱水費・日用品等(物件費・維持補修費)	102万円
医療費(扶助費)	66万円
改築・自動車購入費等(施設整備費)	53万円
仕送り(特別会計への繰出し金)	80万円
ローン返済(公債費)	62万円
貯金	9万円
知人への貸付(公社等への貸付金)	15万円
<b>合計</b>	<b>546万円</b>

- 一般会計の借金残高 449万円
- 全会計の借金残高 962万円

【連絡先】早稲田夕季 後援会 〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-12-10 TEL&FAX 0467-24-9371(※)

ホームページ: <http://www4.ocn.ne.jp/~yuki12/> メール: [himawari-yuki@quartz.ocn.ne.jp](mailto:himawari-yuki@quartz.ocn.ne.jp)

あなたの声をお聞かせ下さい!

※不在の場合は、留守電にお名前を入れて下さい

## 20年度決算審査を終えて

●夕張市の財政破綻問題を機に、公表することが義務づけられた4つの健全化判断比率は、本市ではいずれも早期健全化基準の範囲内になりましたが、下回れば問題がないということではありません。全会計の市債残高962億円をはじめとする、土地開発公社借入額などを含む総合的な市債残高は総額1,089億円にものぼり、標準財政規模(※1)366億円に対して約3倍の借金を抱えていることがわかります。この現在高は市債残高の長期シミュレーションより130億円も多く、財政見込みの甘さが露呈しています。来年度は市民税12億円の減収が見込まれ、より厳しい財政計画を定める必要があります。

※1 通常収入されるであろう一般的財源(税や交付金)の規模

●本市の歳入に占める地方税の割合は66%で、年々高まる傾向にあります。しかし、20年度決算では現年課税分の徴収率が98.1%で前年度比マイナス0.2%になり、滞納額は繰越分を含めて約28億円と増加しており、根幹となる財源確保が十分になされなかったことは問題です。厳しい経済状況の折ですが、徴収技術向上はもとより、積極的な差押等の取り組みを強化することが、公平負担の原則から求められます。

●平成19年度決算における歳出に占める人件費の割合は、同じ規模の自治体と比べた場合、1位/32団体中と突出しています。20年度は減少傾向にあるものの、直営のごみ収集業務、消防署所の多さから職員数が依然として多い一方で、部署によっては超過勤務が恒常化しており、人事配置の見直しや年功型からやる気を引き出す給与制度への改革が必要です。

## 一般会計決算に反対討論(要旨)

●固定資産税の課税誤りや契約事務等の度重なる不適切な事務処理、岡本マンション問題に係る訴訟参加は市政の停滞と市民の不信感を招く結果となった。

●平成19年度決算の審議において、同僚議員から電子複写機等の全庁的管理の適正化を求める指摘があったにも関わらず、20年度においても全く改善が図られていない。全庁で104台のコピー機の管理について、各課でばらつきのあ

る契約形態を見直し、税金の無駄づかいを省く公平で効率的な契約・管理を行うことを強く求める。

●岡本マンション問題で、事業者が県を被告に裁判の取り消しを求める裁判において、事業者側で訴訟に補助参加した市長の判断は断じて容認できない。議会はこれまで7回の決議を出して、市民の信頼回復と壊された階段の原状復旧を求めてきたが、2年間予算は執行されずに問題は放置されている。

1日も早く住民との協議の上で、取り崩された階段の工法を決めて原状復旧するように意見を付して、反対討論とする。

「基地局建設中止を求めること」についての陳情  
2本は総務常任委員会で継続審査

携帯電話の中継基地局、いわゆる電波塔がビルの屋上や住宅地に相次いで建設されています。建設をめぐり、景観や健康への影響を心配して、周辺住民が反対するケースも増えていきます。電波塔は建築確認が必要でない工作物に当たるとして、近隣住民への説明もままに設置されてしまっているのです。

今回と同様の条例制定を求める陳情が平成20年9月定例会で採択されながら棚上げになっているために、トラブルが絶えません。そこで建設常任委員会視察で、10月29日に盛岡市の条例を学習しました。早急に基地局建設に一定のルールを課すことが必要です。

「盛岡市中高層建築物等の建築等に係る条例」における携帯基地局の主な要旨

- ◆対象となるのは高さ15m以上の基地局(屋上の場合本体の高さが10m以上)
- ◆建築確認申請をする30日前から看板を設置し、近隣住民へ説明会を行う。
- ◆第一種低層住居専用地域を避けるように努めなければならない。
- ◆学校や病院、福祉施設の近隣についてはできるだけ避けるなどの特別の配慮をお願いしている。

※詳細はブログ「鎌倉つれづれ」

を「ご覧ください」

## 早稲田夕季プロフィール

- 鎌倉市議会議員(2期)、建設常任委員、決算特別委員
- 昭和33年12月6日生まれ
- 白百合学園小・中・高校、早稲田大学法学部卒業
- 日本輸出入銀行・地元ミニコミ紙記者
- 早稲田大学鎌倉校友会・鎌倉日仏協会・鎌倉同人会  
鎌倉ホームヘルプ協会ベルの会・鎌倉風致保存会  
カトリック雪ノ下教会に所属



8月30日の総選挙では多くの方からのご支援をいただき、民主党政権が誕生しました。神奈川4区の長島一由衆院議員に続いて、神奈川県で鎌倉に縁の深い金子洋一参院議員が当選を果たし、鳩山新内閣がスタートです。

鎌倉市長選挙では民主党が推薦した渡辺光子さんが敗れ、力不足を痛感しました。松尾崇新市長の舵取りをしっかりとチェックし、「あなたの声で政治は変わる」ことを実感できる市政のために、頑張ります！

